## 平成 24 年度 事務事業事後評価調書(平成 23 年度事業)

<u>整理番</u>号 5 <mark>−</mark> 14

1	事務事業の表	示								*	■:該当
事	事 務 事 業 名 遠軽厚生病院医療機器整備費補助事業										
	価 者	担当課名		保健福祉課		.課	担当係名		保健係		
評		管理職	職名		課長		作成者		職名		係長
			氏名		山崎佳。	<u> </u>			氏名	佐	々木希美枝
事	業の概要	額専門治療権	幾器(血	一病院である遠軽厚生病院に 管造影X線診断装置一式)更新 村で助成する。				係る経り	全体計画       (平成 23       事 地方信業       その信費       事業費	大円       也     千円       :源     1,823       千円	
実	施方法	直営			民間委託	ŧ		₹0.	)他 (		)
	第5期 総 合	計画(前	期)	•	登載事業	ŧ	1	非登載	事業	優先度	Α
	第5期 総 合	<b>計画(前</b> 政策		2	登載事業 ぬくもり・		<u> </u>		•		Α
	第5期総合		標	_		雄武~何	保健		•		А
	第 5 期 総 合 業の位置付け	政策	想 標 施 策	2	ぬくもり・	雄武〜( 療の充実	保健主	•医療•	•		A
		政 策 目 基 本 が	想 無 策 策	2	ぬくもり・ 保健・医	雄武〜( 療の充写 寮体制維	保健・実 持の	•医療•	福祉の		A
		政策     目       基本     が       単位     が	1     標       b     策       b     策       c     類	2	ぬくもり・ 保健・医 地域医療	雄武〜( 療の充写 寮体制維	保健・実 持の	·医療· 確立	福祉の		A
	業の位置付け	政 策 E 基 本 が 単 位 が 事務事業の その他計画・ 20年度(実績	目 標 施 策 施 策 D 種類 根拠等	2 6 5	ぬくもり・ 保健・医 地域医療 自治事務	雄武〜( 療の充写 寮体制維	保健・持の	確立 法定受	話事務	充実~	24年度(見込)
事	業の位置付け 実 施 年 度 国・道支出金	政 策 E 基 本 が 単 位 が 事務事業の その他計画・ 20年度(実績	標   振 策   版 策   D 種類   根拠等   0 21	2 6 5	ぬくもり・ 保健・医 地域医療 自治事務 (実績)	雄武〜仏 療の充写 寮体制維	保健・持の	確立 法定受 績)	話事務	充実~ <u> </u>	<b>24年度(見込)</b> 千円
事	業の位置付け 実 施 年 度 国・道支出金 地 方 債	政 策 E 基 本 が 単 位 が 事務事業の その他計画・ 20年度(実績 千F	標 施 策 策 を 類 根 拠等 <u>り 21</u> 円	2 6 5	ぬくもり・ 保健・医 地域医療 自治事務 (実績) 千円	雄武〜仏 療の充写 寮体制維	保健・持の	· 医療 · 確立 法定受 <del>績)</del> 千円	話事務	充実~ <b>(実績)</b> 千円 千円	24年度(見込) 千円 千円
事 事業	業の位置付け 実 施 年 度 国・道支出金 地 方 債 その他財源	政 策 E 基 本 が 単 位 が 事務事業の その他計画・ 20年度(実績	標 施 策 策 を 類 根 拠等 <u>り 21</u> 円	2 6 5	ぬくもり・ 保健・医 地域医療 自治事務 (実績)	雄武〜仏 療の充写 寮体制維	保健・持の	確立 法定受 績)	話事務	充実~ <u> </u>	<b>24年度(見込)</b> 千円
事	業の位置付け 実 施 年 度 国・道支出金 地 方 債	政 策 E 基 本 が 単 位 が 事務事業の その他計画・ 20年度(実績 千F	標 施 策 策 類 根 拠等 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 6 5	ぬくもり・ 保健・医 地域医療 自治事務 (実績) 千円	雄武〜仏 療の充写 寮体制維	保健・持の	· 医療 · 確立 法定受 <del>績)</del> 千円	福祉の 託事務 23年	充実~ <b>(実績)</b> 千円 千円	24年度(見込) 千円 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論 上の成果指標)					
【抱える課題や ニーズは】	ー定の専門治療を二次医療圏域で受け ることができる。	高額専門治療機器の配置					
【どのような状態 になることを目指 したのか(意図)】	日常生活圏域内である二次医療圏域で 必要な一定の専門治療を受けることが できる。	指標(指標計算式/解説)     目標値及び実績値       ① 血管造影X線診断装置の配置     目標年度     平成23年度       目標値     1台       実績値     1台       達成度     100.0 %					
【その結果、どの ような成果を実現 したいか】 ※成果=目的	日常生活圏域で専門医療を受ける機会が確保され町民の健康の回復と生活の質が向上する。	②    目標年度					
	内 容(どのような手段で	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
遠軽厚生病院高 額専門治療機器 の更新	遠軽町他遠紋7市町村の按分により、機器更新に係る経費の一部を補助した。						

3 事務事業の評	『価 (Check)		ĒŽ			
(1)事務事業の必		勢に照らして妥当か、町が担う必 章、既存事務事業との機能重複や				
必要 必要/概ね必要/ 課題あり	■ 義務的なもの ■ 全部 ■ 一部	二次医療圏域のセンター病院によ 町民の専門治療及び健康の回復	らける高度専門医療機能の確保は に必要である。			
	性(期待する効果が得られ	<u>いた</u> か)				
有効	設定した目標値の達成 状況 [■]達成	医療機器の配置により専門治療の機能を確保することができた。				
有効/概ね有効/ 課題あり	ほぼ達成 下回る					
(3)事務事業の効率	性(コストに見合った効果	が得られたか、計画上のコストを	下げる工夫をしたか)			
<b>効率的</b>	判断の理由 事業費抑制 人員削減 時間短縮・作業軽減	遠軽町ほか市町村の協力により効率的に実施した。				
的/課題あり	<mark> </mark>  ■  <mark>その他</mark>					
(4)事務事業の公平	i性 判断の理由					
公平/概ね公平/	<ul><li>── 受益者負担がある</li><li>── 受益者負担がない</li><li>── 受益が一部に偏る</li></ul>	二次医療、高度専門医療を必要と 生病院を利用することができる。	でする場合は全ての町民が遠軽厚			
B:ほぼ計画通 C:当初の計画	業が進んでいる。目標が遠 りに進んでいるが目標に īを達成できていない。事業	達成された。今後も計画通り事業を 達成していない。事業の進め方に 美規模、内容、実施主体等の見直	改善が必要 等			
	・衣れていない。 争業の統 価(一次評価)	合、休·廃止の検討が必要 等   評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)			
	A					
計画通り機器が配置 る。	置され治療に活用されてい					
今後の展開方 (Action)						
	<u>終了</u>					
計画された機器が西度で事業は終了する	記置されたことにより今年 る。					
*展開方向の区分 〇 継続/現状	維持又は拡充又は縮小又は	・ 統合又は内容の見直し・変更 ○	終了 〇 休止 〇 廃止			
5 その他特記事項		部評価を受けた場合は、その旨記				